



後期が始まりました！やっぱり学生の皆さんの姿をキャンパス内で見られると、自然とウキウキしてしまいます。もちろん慣れないハイブリッド授業で、遠隔だったり対面だったりする毎日、「まだ慣れない…」という人もたくさんいると思います。「自分のペース」を大切にしていましょね。



近年、10月といえばハロウィン。日本でも各地ですっかり仮装パーティーなどのイベントが定着しましたが、今年は感染症の影響で開催が難しそうですね。

さて、皆さんは元々この日が何の日だったか知っていますか？実は、ハロウィンは古代ケルト（今でいうアイルランド地方）のドルイド教という宗教のお祭りで、新年を迎える行事でした。現代のカレンダーとは異なりますが、11月1日が新年、10月31日が大晦日にあっていたそうで、この日の夜には先祖が会いに来ると考えられていたのです。（なんだか日本のお盆のようで、そこでお祭りをする辺りにも親近感をおぼえます）ちなみに、「カボチャ」を飾るのはハロウィンがアメリカに伝わってからのことだそうで、元々は「カブ」がハロウィンにつかわれる野菜だったとか。



ところで皆さんは「メアリー・ポピンズ」というファンタジーを知っていますか？イギリスの児童文学作家パメラ・トラバースさんによって書かれたシリーズで、たくさん日本語訳されていますが、そのなかの一冊『公園のメアリー・ポピンズ』（岩波少年文庫・1965）に「ハロウィン」というお話があります。それはこんなあらすじです。

## あらすじ

メアリー・ポピンズはハンクス家に住んで4人の子どもの面倒を見るお手伝いさん。あるハロウィンの日、彼らの元にパーティーの招待状が届きます。

それは、年に一度のハロウィンの夜に、生きものの「影」たちが集まるパーティーの招待状でした。

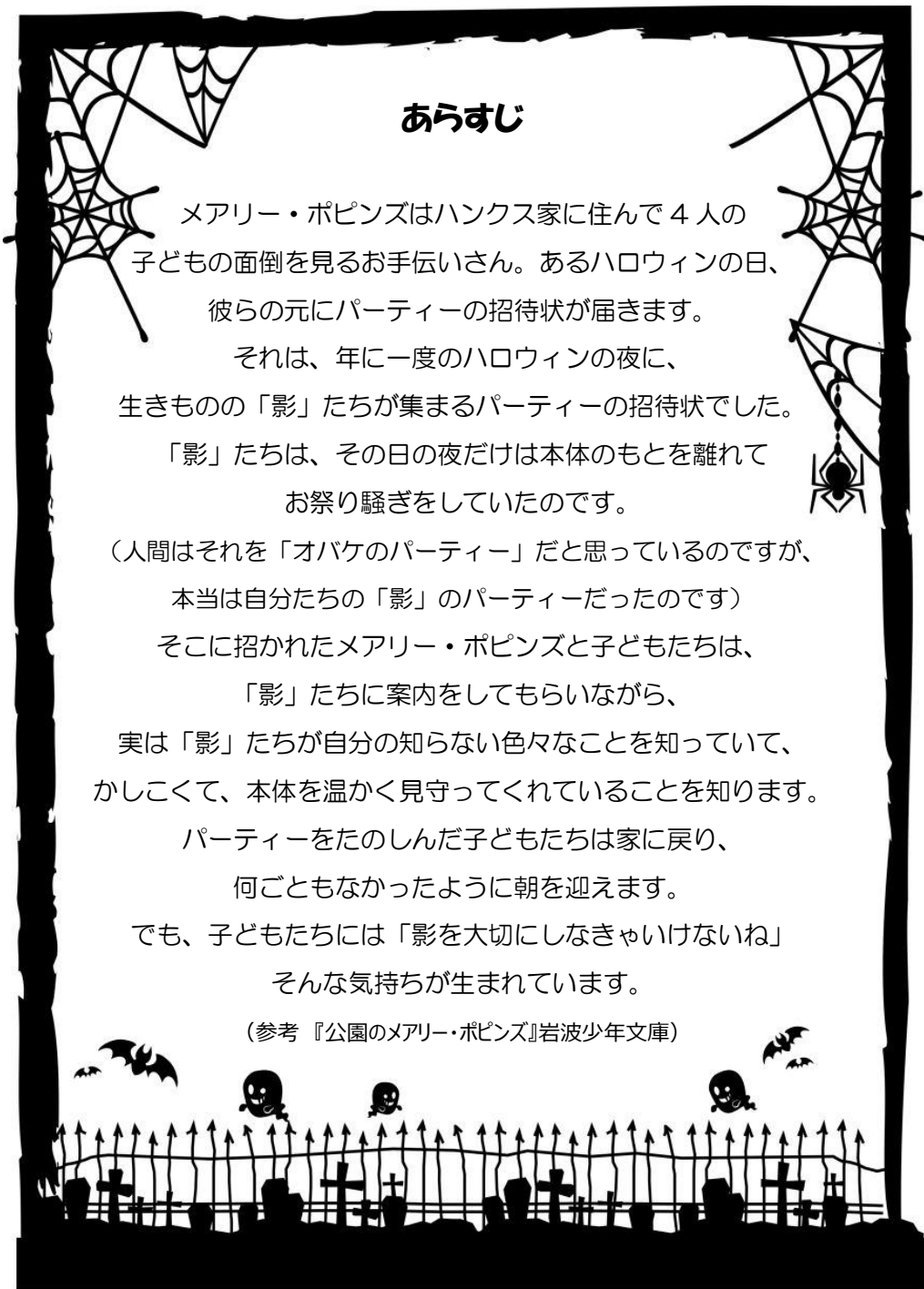
「影」たちは、その日の夜だけは本体のもとを離れてお祭り騒ぎをしていたのです。

（人間はそれを「オバケのパーティー」だと思っているのですが、本当は自分たちの「影」のパーティーだったのです）そこに招かれたメアリー・ポピンズと子どもたちは、

「影」たちに案内をしてもらいながら、実は「影」たちが自分の知らない色々なことを知っていて、かしこくて、本体を温かく見守ってくれていることを知ります。

パーティーをたのしんだ子どもたちは家に戻り、何ごともなかったように朝を迎えます。でも、子どもたちには「影を大切にしなきゃいけないね」そんな気持ちが生まれています。

（参考 『公園のメアリー・ポピンズ』岩波少年文庫）





実は「影」は心理学にもかかわりがあります。  
それはユングの深層心理学のなかに出てくる概念で、

- 「自分のイヤだなと感じること」
- 「価値がないと思っているもの」
- 「自分だと認めたくないもの」 etc…

こういったものを象徴するイメージとして「影」といいます。けれど「影」と呼ばれることが表しているように、それは常に自分にくっついている**「自分の一部」**でもあるのです。

「影」をテーマにした有名なファンタジーにはアーシュラ・ル・グウィンさんの『ゲド戦記 影との戦い』（岩波書店・1976）があります。ここに出てくる「影」は、まさにユング心理学の「影」と言ってもよく、主人公のゲドは、ある日解き放ってしまった自分の「影」から、はじめは逃げ続け、その存在を認められず、恐れて日々を送ります。でもある日を境に今度はゲド自身がその「影」を追いかける側となります。そして…

結末はここには書きませんが、自分の認めたくない自分、受け容れられなかったもの、どうしても拒絶してきたもの…そうしたものが自分の「影」なんだとしたら、そしてそれを「大切にしなくちゃね」と思えたら、どんなことが待っているのでしょうか？あるいは自分がその「影」に見守られているのだとしたら、世界はどんなふうに見えるでしょう？

現代は、自分の気に入らないものや自分と意見の違う相手をカンタンに批判したり叩いたりする風潮が蔓延していますが、それは自分の「影」なのかもしれないと思って向き合ってみることで、何か見えてくるものがあるかもしれないな、と思わせてくれるお話です。

授業が始まって忙しい時期ですが、ぜひ「読書の秋」もたのしんでくださいね。



NOTE 昨夜の最低気温は 10℃！急に気温が下がって体調を崩しやすくなっています。後期も 3 週目に入り、疲れが出てくる人もいるかもしれません。体調がおかしいなと思ったらまずはゆっくり休むようにしてくださいね！  
ガクソウ通信 2020 年 10 月号（10 月 20 日発行） 京都精華大学学生相談室 本館 H-305

## 「なんでも相談窓口」はじまりました！

学生支援センターの「なんでも相談窓口」は、学生生活で気になったこと、困ったこと、質問したいことなどがあつたら、「なんでも」気軽に相談したり、話したりできる場所です。たとえば、授業のこと、友達のこと、生活のこと、家族のこと、将来のこと etc… 「こんなこと人に聞いていいんだろうか？」なんて思わずに、なんでも気軽に尋ねてください。

- ★予約にはメールと LINE が利用できます。（相談自体は LINE では対応していません）
- ★詳しくはポータルまたは学内にあるどうをチェック！まずは LINE の登録だけでもどうぞ！

場所：体育館 3 階 宮江研究室 対応時間：月～木 10:30～18:00

## 「心理相談・カウンセリング」について

今年度の「心理相談・カウンセリング」は、感染症拡大を防止するため**完全予約制**となっています。①**メールに必要事項\*を書いて専用アドレスに送信** または ②**予約申込票を記入し、学生相談室前のポストに入れる** のどちらかの方法で申し込んでください。

（必要事項 = 氏名・コース・学年・相談したいこと・来室可能な曜日と時間）

申込み後、まずはメールでご連絡します。申し込んだ後は、メール確認をお願いします。

現在カウンセリングが混みあっており、申込みから初回までに長くかかることがあります。「かなり調子が悪い」「急ぎ病院に行きたい」といった場合には、まずはメールで問い合わせてください。

## 「フリールーム」開室しています

フリールームは授業の合間などにゆっくり静かに休めるスペースです。ただし、感染症対策として入室できる人数を制限し、利用時には体温計測と「利用カード」への記入をお願いしています。

場所：本館 3 階 学生相談室内 開室時間：月～金 10:40～18:00

※臨時閉室や時間変更の可能性もありますので、詳細は学生相談室にて確認してください